

1年次から社会の「現場」を体感する

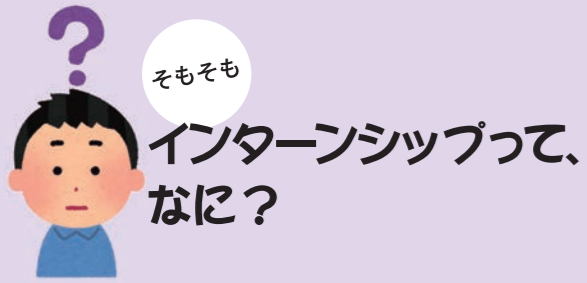
# 現場体験型 インターンシップ



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学





近年では、大学3年生などの就活生を対象とした「1 day インターンシップ」等と称する会社説明会が増えていますが、本来は「就業体験」のこと。企業などで実際の業務を一定期間体験することは、業界・職種や自己理解を深め、自分の価値観を知る良い機会。「キャリア形成」のための大切なステップと言えます。

## 参加すると、 どんな良いことがあるの？



### 1 早期の参加で、 その後の「学び」がより深まる

実習等を通じて業界や社会全体の課題と向き合うことで、その後の大学での学びを深め、より有意義なものにしていくことができます。

### 2 自己分析をはじめると良い機会に

自身の得意不得意なことや、仕事に求める価値観（自分は何を働きたいとするのか）を知ることで、今後の進路選択のうえで、大切な軸を持てるようになります。

### 3 業界や職種の理解に役立つ

実習先の業種や体験する職種の理解に役立つだけでなく、他の業界との関わりなど、「世の中」全般への理解を深め、興味を広げるきっかけとすることが可能です。

### 4 新しい「人とのつながり」をつくる可能性が広がる

実習先での就業体験は、家族、友人関係などとは別の「おとなの世界」に触れること。社会の現場で働く「おとな」たちとの出会いによって、新しい人的ネットワークへとつながるかもしれません。

都立大生になったら

# 「現場体験型インターンシップ」に参加しよう！

「現場体験型インターンシップ」は、本学の前身である首都大学東京開学時（2005年）から実施しているキャリア教育の体験型科目です（全学部対象の正課授業）。主に1・2年生が大学生活の早い段階で履修できるのが特長で、実習先に関する事前調査やグループワーク等からなる「事前学習」、夏季休業期間中に5～10日間の日程で参加する「現場実習」、そして実習先での体験を振り返る「成果報告書」の執筆等を通じて、社会や自身の課題に対する認識を深め、その後の学びや自身のキャリア選択をより実りあるものにしていくことを目標としています。

全学部生対象

正課授業科目

主に学部1・2年生

※社会情勢等により、定員を設定する場合があります。

## プログラムの流れ

4月～7月（全3回）

8月～9月（5～10日間）

8月～9月

10月～

### 事前学習

第1回ではプログラムの意義と目的を学び、第2回では事前調査とグループワークを通して実習先への理解を深めます。また、第3回では実習に向けた心構えや成果報告書の執筆方法を学び実習に備えます。（別途ビジネスマナー講座を実施）



※事前学習及び実習は、社会情勢等によりオンライン実施となる場合があります。

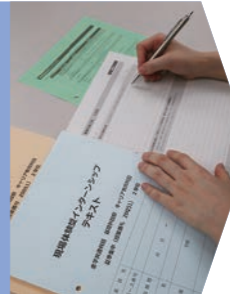
### 現場実習

夏季休業期間中に、実日数5～10日間の現場実習を行います。実習先は東京都をはじめとする官公庁や企業などバラエティーに富んでいます。（実習先例は裏表紙参照）



### 成果報告書の執筆

実習先での体験が自分にとってどのような意味があったかを考え、今後の「大学生活の充実とキャリア形成」にどのように活かしていくかという観点で成果報告書を執筆します。



### 日々の学習への反映

成績判定を経て、半年間にわたる授業で学んだ事柄を日々の学びに反映させていくと共に、キャリア支援行事等を通じて、自己理解や職業理解を深めます。

## 実習レポート

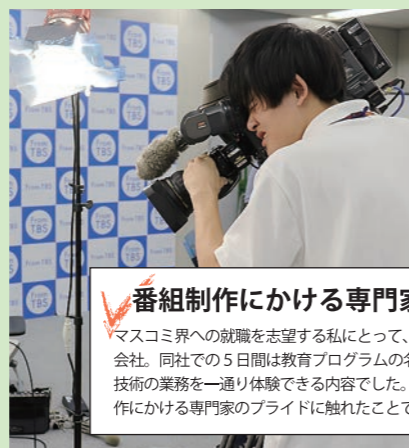
履修学生の所属学部・学科・コース名及び年次は履修当時のものです。

実習先 **株式会社 TBS テックス** 現業本部取材技術部、ポスプロ事業部、CG・デザイン部

日程	実習内容
1日目	取材技術部での ENG カメラ撮影実習
2日目	ポスプロ事業部での MA 業務の実習
3日目	CG・デザイン部での CG・デザイン業務の実習
4日目	ポスプロ事業部での編集業務の実習
5日目	TBS 放送センターメディアルームの見学、実習の振り返り

### 番組制作にける専門家のプライドに触れる

マスコミ界への就職を志望する私にとって、1年次の魅力の一つが「現場体験型インターンシップ」でした。実習先はテレビ番組の技術会社。同社での5日間は教育プログラムの名称の通り、単なる職場見学ではなく、撮影、編集、テロップ入れなど、番組制作における技術の業務を一通り体験できる内容でした。機材操作などの貴重な経験ができたこと以上に私にとって重要な意味を持つのは、番組制作にける専門家のプライドに触れたことであり、自身の将来像を具体的に描くことができました。【人文社会学部人間社会学科1年】



実習先 **東京都建設局** 第一建設事務所

日程	実習内容
1日目	オリエンテーション、河川・都道の監察業務
2日目	工事課事業説明、船での護岸緑化・水面清掃業務
3日目	環二工事課事業説明、環状2号線(虎ノ門～勝どき)での現場実習
4日目	補修課事業説明、道路景観整備工事・橋の資料館等での現場実習
5日目	丸の内～皇居周辺の各建設現場等での実習、実習のふりかえり

### 土木の仕事の多彩さを実感

土木構造物に興味があり、実習は東京都建設局第一建設事務所に向いました。ここでは環状第2号線という新設事業に取り組みつつ、勝間橋など歴史的建造物の保全にも力を注いでいます。5日間は河川の水面清掃、トンネル工事の視察、東京駅前の行幸通りでの測量体験など盛りだくさんの内容で、土木業務の多彩さを体験しました。私は興味のある職場を選びましたが、専攻とは異なる分野を選んだ学生もおり、全学共通の実習だからこそできる選択だと感じました。【都市環境学部都市環境学科都市基盤環境コース1年】



## 履修学生の声

※履修学生アンケートより



実習では、患者さんとのコミュニケーションの仕方を学ぶことができ、さらに、医療チーム内の連携の大切さも知ることができました。また、ミス無く、患者さんにとって居心地の良い空間にする責任の大きさも感じることができました。（実習先：東京都病院経営本部）



教員同士の連携や子供たちと打ち解けるためにもコミュニケーションは必須でしたので、礼儀をわきましつつも活発にコミュニケーションをとることができました。（実習先：特別支援学校）



社会人としての基本的な教養を1年生のうちから身につけられたのは、今後自分の将来を定めるときに大きく役に立つと確信しました。また、細部にも気を配る力や、社会人としての責任の重さを痛感することもできました。（実習先：町田市 地域福祉部）

企業を訪問する中で、自分が大学で学んでいる知識が活用されている様子を目にすることができ、大学の学びと社会とを結びつけて考えられるようになり、今後の学習意欲が高まりました。（実習先：(公財)東京都中小企業振興公社）



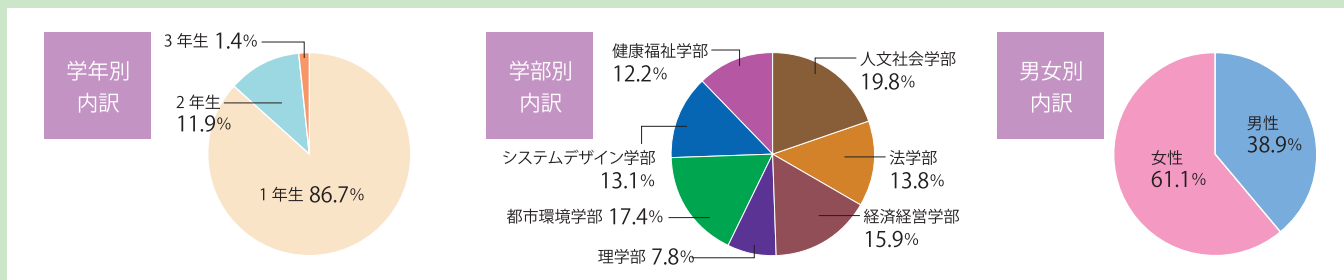
体験したのは電気設備会社でしたが、世の中に存在するものは全て誰かのおかげなのだと感じました。当たり前を作る工夫、地道な作業がたくさんあることを知ることができ本当に良い経験となりました。社会の課題を自分で見つけることができたことも嬉しく思いました。（実習先：インフラ関連設備会社）



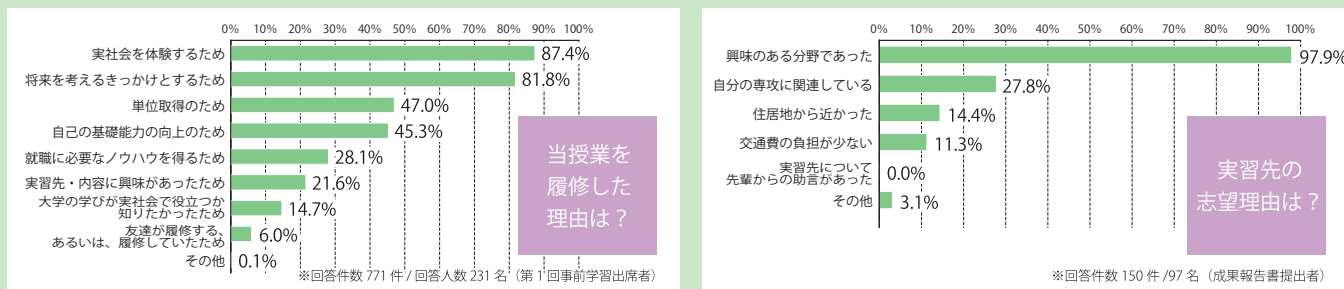
実習が始まってみると、事前学習で自ら設定した実習目標は「何か違うな」と感じましたが、実習を終えた後の振り返りの際にその「違い」を考えることで、実習前には想像もしていなかった新たな発見を得ることができました。（実習先：航空機内清掃会社）



## 履修学生の内訳 (2017-2022年度の5年平均)



## 履修学生アンケート (2021年度)



## 実習先 (2022年度受入予定)

### 東京都 (9実習先・35コース・定員67名)

総務局、都市整備局、環境局、福祉保健局、病院経営本部、建設局、水道局、下水道局、教育庁 (特別支援学校)

### 特別区 (9実習先・19コース・定員34名)

新宿区、墨田区、(公財)江東区文化コミュニティ財団、品川区、目黒区、(社福)目黒区社会福祉事業団、北区、練馬区、江戸川区

### 市 (9実習先・33コース・定員60名)

武蔵野市、青梅市、昭島市、調布市、小金井市、日野市、国立市、多摩市、羽村市

### 東京都の関係団体 (11実習先・22コース・定員45名)

(公財)東京都歴史文化財団、(公財)東京都交響楽団、(公財)東京都スポーツ文化事業団、東京都住宅供給公社(JKK東京)、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京しごと財団、(公財)東京動物園協会、(公財)東京都公園協会、(公財)東京都道路整備保全公社、(公財)東京防災救急協会

### 企業・その他法人 (62実習先・64コース・定員174名)

(株)ウチダシステムズ、(株)AHB、(株)クオリティ・オブ・ライフ、(株)ジェイ・ブロード、(株)四季リゾート、(株)セレスポ、(株)タウンニュース社、東京港埠頭(株)、(株)東京サマーランド、(一財)日本ユースホステル協会、(株)パナグループ、(株)パフ、びあ(株)、(株)マキシマイズ、(株)メディアハウスホールディングス、ヤオキン商事(株)、リゾートトラスト(株)、(株)ジェピコ、(株)シモジマ、三谷産業(株)、(株)内田洋行、(株)カネコ、京セラ(株)、多摩冶金(株)、(株)浜野製作所、プレス工業(株)、ヨシモトポール(株)、リオン(株)、(株)オムテック、大末建設(株)、高松建設(株)、(株)日本構造橋梁研究所、ファーストコーポレーション(株)、(株)松尾工務店、メトロ設計(株)、(株)リンク・トラスト、神奈川中央交通(株)、多摩都市モノレール(株)、アールシーソリューション(株)、(株)キーワードマーケティング、(株)キュービック、(株)クレッシェンド、JTP(株)、セコムトラストシステムズ(株)、ナビオコンピュータ(株)、(株)ニッポンダイナミックシステムズ、(株)日本トータル・システム、(株)マン・マシンインターフェース、(社福)シルヴァーウィング、東電ハミングワーク(株)、(一社)ぼうず、堀江車輻電装(株)、PT(有)リハビリ道場、特定非営利活動法人 NPOフュージョン長池、NPO法人国際自然大学校、認定 NPO法人東京コミュニティスクール、ペパーソンインターナショナル(株)、(一社)まちやま、NPO法人留学協会、(公財)日本サッカー協会、(一社)日本新聞協会、(株)モーテック (2022年6月現在)

## 現場体験型インターンシップ WEB サイト <https://career.tmu.ac.jp/internship/>

より詳しい情報を知りたい方は、こちらをご覧ください。

### 主なコンテンツ

- ◆事前学習・マナー講座・実習について
- ◆実習学生レポート ◆FAQ ◆データ集ほか



## お問い合わせ先

東京都立大学 キャリア支援課  
インターンシップ担当

電話：042-677-1342 [直通] E-mail：internship@jmj.tmu.ac.jp

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 東京都立大学 南大沢キャンパス 7号館1階